日刊工業新聞　2011年6月20日

カネカ、太陽

1420ミリ×1100ミリと従来品（1240ミリ×1000ミリ）より一回り大きい公共・産業用の太陽電池を市場投入する。従来の樹脂フィルムではなく、ガラス封止を採用した新構造とし、防湿性や耐久性を高めた。

新製品は出力155―160ワット程度になるもよう。システム電圧を従来の600ボルトから1000

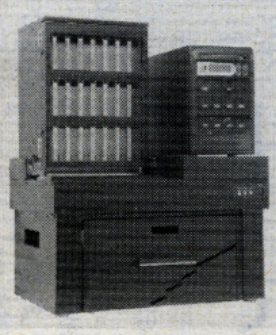
春に予定される公共産業用太陽光発電の買い取り制度導入をターゲットに受注活動を本格化する。

カネカは10年度に生産子会社カネカソーラーテック（兵庫県豊岡市）で薄膜ハイブリッド型太陽電池の生産能力を従来比3倍の120メガワットに高めた。増設した2ラインのうち1ラインで新たにガラス封止設備を導入し、

USBデータ

メモリーに自動複製

クイーリー データタンクと装置



【千葉】クイーリー（東京都文京区、嶋村信行社長、03・3526・5006）は、データンク（千葉県松戸市、佐藤博光社長、047・701・8137）と共同で「耐タンパー性USBメモリ自動複製装置＝写真」を開発し、7月にも発売する。USBメモリーに収録したデータを別のUSBメモリーに自動で複製できる。データに耐タンパー性（不正な手段によるデータの読み取りを防ぐ能力）を持たせることも可能。価格は168万円から。コンテンツ制作業者やメモリーメーカーなどに拡販し、年間約2億円の売り上げを目指す。

同装置は電源スイッチなどを設けたコントローラー部、メモリーが50本積載可能な列を8列用意したマガジン部、複製後のメモリーを収容するローダー部で構成。コントローラー部に複製したいデータを収録したメモリーを接続し、マガジン部に空のメモリーを重ね積んで複製処理。処理後のメモリーは、自動で検品され、ローダー部で複製完了品と未完了品に振り分けられる。

1回の操作で最大400本のメモリーにデータを複製でき、データの消去なども可能。4ギガバイト（ギガは10億）のデータであれば最速約2時間で400本を複製できる。

同装置の開発事業は2010年に関東経済産業局から「新連携計画」の認定を受けた。データに耐タンパー性を持たせるソフトウエアを手がけるクイーリーが、CD／DVD書き込み装置などを製造するデータンクと開発した。

プロダクション事業拡大

出版物の電子化追加

富士ゼロックス

富士ゼロックスは印刷物や電子コンテンツなどを制作するプロダクションサービス事業の拡大を急ぐ。このほど出版物の

た。同社では売り上げに占めるサービス事業の比率を現状の2割から2013年度に3割に引き上げる目標を打ち出しており、同

つに位置付ける。

新たに追加した出版物の電子化サービスでは主に企業のカタログやパンフレットの電子化を想定している。営業担当者がいカタログを持ち運ぶ手間が省ける。また、ウェブ上で利用することで顧客からのアクセス数を分析し、「リアルタイム

のメカンソーラーの設置についても検討を始めた。

制度の詳細決定をにらみながら12年春をめどに、助制度や春の景響を受けて国内回帰している。

裕な対象にしたケースでは、顧客の購入履歴に基づいた商品情報をダイレクトメールに掲載し、顧客の名前や地域を文面に挿入するなどしたところ、受注件数が1・7倍、金額が1・5倍に増えたケースもあったという。

光源に冷陰極蛍光ランプ

明るさ16％増

フォムテックスインターナショナル（東京都中央区、根田和彦社長、03・3544・0873）は、冷陰極蛍光ランプを光源にした直管蛍光灯型照明「スマーティーライトⅡ＝写真」を発売した。既存タイプは消費電力24ワットで同40ワット蛍光灯と同等の明るさを実現しており、同器はさらに明るさが16％増した。価格は40形ランプ2灯とインバーターをセットにして1万8000円。初年度10万ドルの販売を目指す。

フォムテックスが直管蛍光灯型照明

冷陰極蛍光ランプは液晶テレビのバックライトに使われており、消費電力が少なく、発熱量も小さい。同器は蛍光管の内部に2本の発光管を搭載し、各管の電流と電圧を見直すことで1本当たり8％程度明るさを増した。また蛍光管内部にアルミニウムのフレームを入れて蛍光管の変形を防いだ。光源寿命は5万時間。

同社は3月に電気工事会社、サガワ電工・ロジスティックス（東京都中央区）を設立しており、同社で据え付け工事を手配する。すでに大手スーパーに試験導入しており、今後、中堅スーパーを中心に営業を強化する。

低コストでロープ

既存の機

三菱電機と三菱電機ビルテクノ

レーエタ式エレベーター油圧式

三菱電機と三菱電機ビルテクノサービス（東京都荒川区）は、油圧式からロープ式機械室レスの

エレベーターにリニューアルできる「エレ・ファイン」を発売した。リニューアル時に乗り場やか

子との相性も良い。月内に先端デバイスセンター（群馬県富岡市）で大手水晶メーカー向けに量産を始め、2011年度に60万個の出荷を見込んでいる。

基板表面には水晶振動子をはじめとした受動部

創造者への挑戦①

ナスン電子

を堅持し、リーマン・ショック後の業績V字回復を実現したのは事実。

それがここに来て、李

から程遠い。家電も状況に大差ない状況だ。

足元は稼ぎ頭の半導体に加えて携帯電話事業が好調だが、米アップルの

も目指すゴールは同じ。そこで問われるのは、実際に収益の柱に育てる経営の実行力だけだ。「自力成長で発展を遂げてき

用するのかは電機業界でも大きな関心事だ。

ここ10年の電機業界で技術革新を先導したのは

雑移

（兆ウォン）

20

15

10

5

20年（目標）